

別紙

平成22年度 県立大学地域貢献研究の研究成果について（完了報告・中間報告）

研究課題	行政課題 15 「足羽川の利活用にかかる調査研究」 都市中心部のまちづくりのための都市河川の活用について —市民パートナーシップによる足羽川の活用によるまちづくりのモデル形成—
研究期間	平成 22～23 年度
主たる研究者	【学部・学科】 地域経済研究所                      【職・氏名】 小川雅人
<p>○研究目的</p> <p>足羽川について市民は、復興に向けた改修が一定の段階を終わった段階で、河川の調査維持管理、利活用について参画・連携し、日常的な生活空間として利用できるよう、良好な河川の景観を保全し、活用ができる。そのために市民参加の仕組みを確立し、パートナーシップに基づく仕組み作りが必要である。そのための市民参加のモデルを構築し、中心市街地との連携を強化する。</p> <p>○研究成果</p> <p>(1) 研究のプロセス</p> <p>①研究フレームワークの作成</p> <p>②仮説モデルの構築</p> <p>③既存資料や関連分野の精査</p> <p>④市民団体組織の掘り起こしと確認</p> <p>⑤合意形成のためのワークショップ開催</p> <p>(2) 仮説</p> <p>①地域活性化への市民参加がどのように行われているのか、明確ではない 明確になれば交流が生まれる</p> <p>②どのような特性を持った人が地域活性化を担っているのか、明確ではない 明確になれば役割分担ができる</p> <p>(3) 仮説に基づく事例研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県外で河川利活用に取り組む団体             <ul style="list-style-type: none"> <li>①荒川クリーンエイド・フォーラム NPOを中心に市民・企業が連携して都市河川を維持・活用</li> <li>②北沢川せせらぎクラブ 世田谷区管理事務所と住民組織のコラボレーション</li> </ul> </li> <li>・ 県内で足羽川利活用に取り組む団体・組織             <ul style="list-style-type: none"> <li>①池田町長 杉本博文氏 都市河川上流での町・住民連携のまちづくり</li> <li>②美山まちづくりNPO 都市河川上流でのNPOと市民のまちづくり</li> </ul> </li> </ul>	